

大分県特定施設連絡協議会 議事録

会議名	平成 22 年度 大分県特定協運営委員会 第 6 回・定期総会	日 時	平成 22 年 4 月 23 日 16:30 17:30
		場 所	大分市コンパルホール 305 会議室
議 長	河津一廣(シルバーマンションひだか・施設長)・進行(まごころ苑・中山苑長)		
出席者	アーバンリブ金池(橋本)、ウェルファ豊丘(大石)、おおいた南(渡邊)、グランドホーム坂の市(井本)、グランドホーム古国府(首藤、堀)、グローバルライフ生石(井上)、ケアホーム借楽園(田尻)、ケアホーム玄々堂(南)、ケアマンションひだか(河津)、小池原・福招苑(黒川)、ジュエル藤原(松谷)、シルバーヴィラおぐす(相良)、ハーモニー四季(谷川)、はびね別府流川(八坂)、まごころ苑(中山)、悠久の丘・万葉(西谷)、白雲山荘(新貝、伊東) 17 施設 19 名		
欠席	はびね別府亀川(秦)、初音の里(井門)、夢まごころ苑(遠藤)、樫の樹(松田) シニアウスほりかわ(堀川)、スカイホーム明野(峯)、シルバーホームなごみ(松岡) 7 施設		
経 過	<p>16:30 平成 22 年度・大分県特定施設連絡協議会・定期総会 開会</p> <p>1. 会長挨拶...八坂会長より挨拶があった。</p> <p>2. 議長選出...司会者(中山)より、本総会出席施設数及び出席人数の報告があり、本総会の成立を宣言し、その後、議長選出について議場に問うたところ自薦・他薦共になく、河津一廣氏(ケアマンションひだか施設長)を指名し、その可否を議場に問うたところ、全会一致で承認された。</p> <p>3. 議長議事進行に入る。</p> <p>(1) 第 1 号議案「平成 21 年度事業報告」...議長指名により、事務局(首藤、グランドホーム古国府)より、報告があった。その後、議長より報告内容について議場に問うたところ、「異議なし」との事。全会一致で承認された。</p> <p>(2) 第 2 号議案「平成 21 年度決算報告」...事務局より、平成 21 年度収支報告があった。その後、議長より、報告内容について議場に問うたところ、「異議なし」との事。全会一致で承認された。次に議長指名により、監事(新貝金久、白雲山荘)が会計監査を行い、適正に会計処理されているとの報告があった。その後、議長より、報告内容について議場に問うたところ、「異議なし」との事。全会一致で承認された。</p> <p>(3) 第 3 号議案「平成 22 年度事業計画及び予算」...議長指名により、事務局より平成 22 年度事業計画及び予算について説明した。この説明を踏まえ、原案について、議長より議場に問うたところ、以下の提案及び意見があった。</p> <p>事業計画について、グローバルライフ生石の井上施設長より、「新たな試みとして「職種間の交流会」を設けているが、実施方法によっては施設批判に終わってしまう恐れがあるので注意願いたい。」との依頼があった。</p> <p>回答：事務局より、「実施方法についての詳細は今後運営委員会で決めて行くが、そのような問題が発生しないよう考慮した企画をしていきたい。また、会員施設の管理者の方々のご意見も伺いながら進めていきたい」との回答があり了解していただいた。</p> <p>予算について、グローバルライフ生石の井上施設長より「全国特定協への研修参加費が今年もあげられているが、今年度から情報の公表の調査に関する研修は廃止されたので、意味がないのでは」との問いがあった。</p> <p>回答：事務局より、「これまでの全国特定協の情報の公表の調査に関する研修は広く</p>		

浅くであり、期待できるものではなかった。今年度は介護職員の処遇改善給付金の減額要件ともなるキャリアパスの整備が必要であること、また役員の中からも参加希望があったことから予算に組み込んだ。時期は未定だが運営委員会で研修内容を確認しながら、出張研修を決めていきたい」との回答があり了解していただいた。

予算について、シルバーヴィラおぐすの相良施設長より「今年度の予算に余裕があるのであれば、会費の軽減も考えていただきたい」との依頼があった。

回答：会長より「昨年度は例年に比べて支出が少なかった。今年度は職種間の交流に予算を使わせていただき、皆様の反響や効果をみながら今後の会費を検討していきたい。」との回答があった。

この後、議長より質問者に対して、回答に対する意義があるかと問うたところ、無かったため議長は、第3号議案について、その議決を議場に問うたところ、満場一致で了解された。

4.その他...議長より、その他の意見を議場に意見を求めたところ、グローバルライフ生石の井上施設長より以下の提案及び依頼があった。

「大分県内の有料老人ホームの数は毎年増加していて、現在158施設であり、その大半

は住宅型である。今後特定協として会員を増やしていったときにその名称として、「特定施設」のままでよいのか検討していただきたい。」との意見があった。

回答：事務局より、「現時点では新たな会員を募る予定はないが、名称の変更については総会での了承も必要なので、今年度運営委員会でも議題に取り上げて検討して、来年の総会の議案としたい」との回答があった。

「キャリアパス要件及び医療行為については、施設運営としても重要な課題となるため、特定協としてもいろいろな情報を積極的に入手して、随時会員にも提供してもらいたい。」との依頼があった。

回答：事務局より、「全国特定協の情報も踏まえて、積極的に情報を収集して、得られたものは会員に随時伝えていきたい。」との回答があった。

5.議長より、本総会の議案すべてについての議事が終了したことの宣言があり、議長は、降壇となった。

6.その他として、この1年間で管理者が替った施設の紹介があり、

「ウェルファ豊丘」「ケアホーム偕楽園」の施設長が一言ずつ挨拶を述べた。

最後に事務局から、ホームページの有効活用と今年度の会費納入のお願いがあった。

7.閉会...進行担当より、閉会を宣言し、本総会は終了となった。

中途退席				必要事項 (備品、用品等)			
回覧印	会長	副会長	副会長	委員	委員	委員	監事
							
記録者	職名	氏名	首藤	毅	志		